

WHO ファクトシート

風疹（三日はしか）

Rubella

2017年3月

重要な事実

- ・風疹は、最も頻繁には小児や若年成人が罹り、伝染性で、一般的には軽度なウイルス性感染症である。
- ・妊婦が風疹に感染すると、胎児死亡や先天性風疹症候群(CRS)と呼ばれる先天性障害の原因となることがある。
- ・世界では、毎年10万人を超える新生児がCRSを持って生まれている。
- ・風疹に特異的治療法はないが、ワクチン接種によって予防可能である。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Rubella ファクトシート原文は [こちら](#)